

「伐って・使って・植えて・育てる」 森林資源を未来に繋げていくプロジェクト

商業施設・公共施設・公園・テラス・屋上・ホテル・リゾートなどをはじめ今後、都会でもグリーンインフラの整備を進めていくことが求められて行く中、そこに寄り添える木製家具が必要になって来ると考えられます。ビオトープはよその土地ではなく、「その地域にもともとあった自然」が基本ということで、地域産の木材を使うことの理も叶っています。

森林資源の循環利用



地域産の木材を使うことで、「伐って・使って・植えて・育てる」という森林資源の循環利用を推進し、森林保全と森林再生に役立ちます。日本の森林再生は、土砂災害を未然に防止し、二

酸化炭素の吸収量を増やすことで、地球温暖化防止にも貢献します。併せて、林業の成長産業化は地方創生の推進力となります。また、屋外においても「木製家具」が使えるというメリットは、木材の利用範囲を一層広げ、木材価値を高めることへ繋げることができます。

プラス・ビオトープの家具は、日本の豊かな森林資源を未来に繋げていくプロジェクトです。

※地域産木材の指定や別注品について、詳しくお問い合わせください。



+biotop "lounge chair & side table" set